

広範な一年生雑草の光合成を阻害する除草剤

グラメックス®

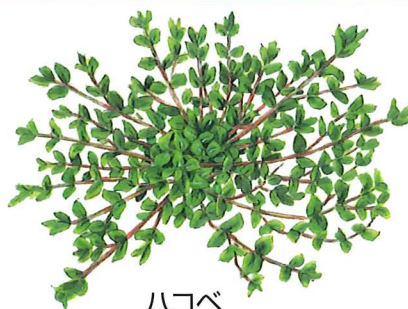
水和剤

特長

- たまねぎ、ばれいしょ、アスパラガスや日本芝でも使える除草剤です。
- ノボロギク、ハコベ、シロザ、メヒシバなどの一年生雑草に高い効果があります。
- 雑草発生前から2～3葉期までが使用適期です。



ノボロギク



ハコベ



シロザ



アグロ カネショウ株式会社

®は、アグロ カネショウ®の登録商標

除草剤 グラメックス®

水和剤

成分：シアナジン.....50%
毒性：-（毒劇物に該当しない）

適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	シアナジンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
ばれいしょ	—	一年生雑草	植付後萌芽前	100～300g/10a	100ℓ/10a	1回	全面土壌散布	1回
たまねぎ (直播栽培)			は種後出芽前 (雑草発生前)	75～100g/10a				
たまねぎ		一年生 広葉雑草	定植活着後 (雑草発生前)	50～100g/10a				
			但し、収穫30日前まで	100～200g/10a				
ねぎ		一年生雑草	定植活着後 (雑草発生前)	100～150g/10a				
			但し、収穫30日前まで	50～150g/10a				
定植活着後 (雑草発生始期)			50～150g/10a					
但し、収穫30日前まで			100～200g/10a					
アスパラガス			萌芽前又は収穫後 (雑草発生前)	100～200g/10a				
日本芝			春期雑草発生前	200～400g/10a	200～300ℓ/10a	3回以内	3回以内	
			秋冬期雑草 発生初期	50～200g/10a				
桑		桑発芽前 (雑草発生前)	200～300g/10a	100～200ℓ/10a	2回以内	2回以内		
すぎ(床替床)								
ひのき(床替床)	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 宅地 運動場 のり面等	雑草発生前	300～600g/10a	3回以内	植栽地を除く樹木等の 周辺地に全面土壌散布	3回以内		
樹木等								

令和5年3月8日現在

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤は雑草発生前～発生始期に有効なので時期を失しないよう土壌全面に均一に散布してください。
- 本剤はツクサに対して効果が劣るので、ツクサの優占場での使用はさけてください。また、広葉雑草に比べてイネ科雑草にはやや効果が劣るので、イネ科雑草以外の草種には効果が劣るので留意してください。
- 砂土、水はけの良い土壌では、薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。また、雨の多い時期、場所での使用はさけてください。
- 高温時の散布は薬害を生じるおそれがあるので、所定範囲内の少な目の薬量としてください。
- ばれいしょに使用する場合は、萌芽直前の散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- たまねぎに使用する場合は、マルチ栽培では茎葉部褐変、枯死等の薬害が生じるおそれがあるため使用しないでください。また、低薬量で使用する場合は、キク科雑草以外の草種には効果が劣るので留意してください。
- ねぎに使用する場合は、次のような条件では薬害のおそれがあるので使用をさけてください。
 - ①定植後1ヶ月未満などネギが十分に活着していない場合。
 - ②ねぎの草丈が20cm以下の場合。
 - ③春期以降の気温が高まる時期
 - ④砂土～砂壌土の場所
- 日本芝で春期に使用する場合は、芝の萌芽期以降の散布は黄化褐変等の薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。また、秋冬期に使用する場合は、一時的に葉身に黄化や退色などの薬害を生じる場合があるので、芝生育期（生育休止期）に使用してください。尚「芝生育期（生育休止期）」とは茎葉の一部に緑色が残っていても、生育の停滞している時期を指します。
- 桑、すぎ、ひのきに使用する場合は、茎葉部に薬剤が付着すると薬害を生じるおそれがあるので、散布の際には作物にかからないよう注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、桑葉にはかからないようにしてください。
- 公園、庭園等で使用する場合は、特に以下のことに注意してください。

- ①農作物の栽培地周辺での使用をさけてください。
 - ②激しい降雨の予想される場合は使用をさけてください。
 - ③本剤の飛散あるいは流出によって有用植物に薬害が生じることのないよう十分注意して散布してください。
 - ④水源池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意してください。
 - ⑤散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さず、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長スボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いは十分注意してください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

魚毒性…水産動植物（藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
保管…密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷蔵・乾燥した所。

- ラベルをよく読む。
- 記載以外には使用しない。
- 小児の手の届く所には置かない。